

週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2012.10.22-10.26

記事の詳細は、情報検索サービス『キジサク』でご覧になれます

*記事は東京発行・最終版

CHINA

10月22日(月)

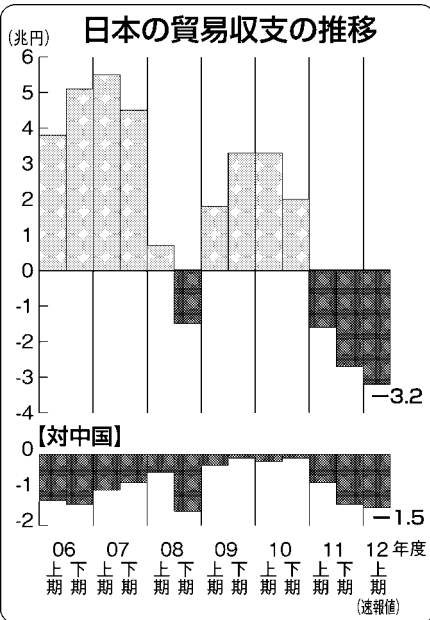
日産、デモ被害を全額補償
中国合併 / 修理費用など

日産自動車は、中国合併会社の東風日産乗用車が、反日デモで顧客が被害に遭った際、同社が修理費用などの損失を全額補償する制度を設けた。顧客がけがをした場合の医療費も負担する。(6面)

10月23日(火)

貿易赤字、最大の3.2兆円
半額が対中国

2012年度上期の貿易統計は、貿易収支が3兆2190億円の赤字だった。半期ベースで過去最大の赤字幅。赤字は3期連続。赤字のほぼ半額が対中国との貿易赤字で占めた。(2面)



中国の次期国家主席に就任予定の習近平国家副主席
(写真は2009年来日時＝ブルームバーグ)

イオン、青島に食品スーパー
計画通り開店

イオンは、山東省青島市に食品スーパー「百麗広場店」を新設、営業を始めた。反日デモで同市内のジャスコが被害。青島エリアは一段の発展が見込め、イオンは計画通り出店する。(3面)

10月24日(水)

中国工場から欧米輸出
建機の板金プレス部品 / 大熊製作所

大熊製作所は、中国工場で生産する建設機械やトラックの板金プレス部品について欧米への輸出を始めた。中国国内の需要が減少傾向。第1弾は日系建機メーカーの英国拠点向け。(27面)

10月24日(水)

エンシュウ、中国現調90%
工作機械 / タイは60%に

エンシュウは、中国とタイの工作機械生産拠点で現地調達比率を引き上げる。3年後をめどに、中国の金額ベースでの現地調達比率を現在比15%増の90%に、タイも同20%増の60%に。(8面)

JBC C、中国でクラウド
月11万5000円 / 日系・現地向け

JBC Cホールディングスは、クラウドコンピューティングの提供を11月に中国で始める。月額9000円(11万5000円)

から。日系企業や現地企業に業務システム基盤や応用ソフトを提供。(10面)

手術用縫合針で北京に新会社
マニー / 製品販売・貿易業務

マニーは、北京に手術用縫合針などを販売する全額出資子会社「馬尼(北京)貿易」を設立した。自社製品の販売やグループ会社の貿易業務を請け負う。世界約120カ所に輸出している。(11面)

中国のコンテナ船が初入港
中・韓・東南ア / 茨城県常陸那珂珂港区

茨城県の茨城県常陸那珂珂港区に中国、韓国、東南アジアを結ぶ定期コンテナ航路が開通され、中国の海運会社「SITCコンテナラインズ」のコンテナ船が初入港した。(24面)



中国・SITCコンテナラインズのコンテナ船が初入港

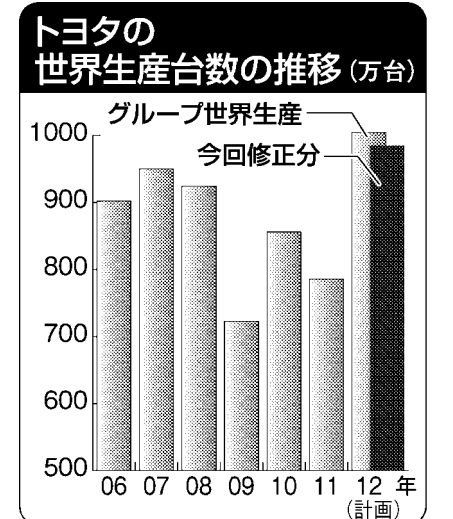
10月25日(木)

中国ツアー 7割減
10 12月 / 日中間係悪化響く

旅行大手7社の10 12月の海外バックツアー予約状況によると、中国向けの予約客は、3カ月とも前年同月比で7割以上、減少した。日中間係の悪化が響いた。日本旅行業協会まとめ。(2面)

トヨタ、1005万台達成困難
中国で販売急減

トヨタ自動車が、計画していた2012年



のグループ生産(ダイハツ工業・日野自動車含む)1005万台の達成が困難な情勢。中国での日本車販売の急減が原因。日本での生産にも影響。(5面)

三菱マテ、中国に3拠点
超硬工具販売 / 瀋陽・成都・西安

三菱マテリアルは、新興国で超硬工具の販売網を拡大する。2013年度までに中国で販売拠点を瀋陽、成都、西安市の3カ所に開設する。また、インドでもチェンナイに拠点を開設する。(11面)

機械廃油、上海で再生
industria / 月6万ℓ精製

industriaは、上海市で工場の機械廃油のリサイクル事業に乗り出す。全自動小型プラント1台を日本から搬入。フル稼働すれば、切削油、潤滑油、洗浄油など月間約6万ℓが精製できる。(15面)

ソニー銀行、人民元など追加
「オフショア人民元」

ソニー銀行は、外貨預金の取り扱い通貨に中国人民幣、南アフリカ・ランド、スウェーデン・クローナを追加した。扱う人民元は、中国本土以外で取引される「オフショア人民元」。(19面)

10月26日(金)

経熱、再び!? 習政権
関係改善の糸口は

中国のトップが交代する。11月8日の中国共産党大会で、胡錦濤国家主席から習近平国家副主席へ権限移譲の見通し。日中の関係が悪化する中、改善への糸口を見いだせるのか。(深層断面＝26面)

T D K、中国の自動化推進
専用技術者 / 東莞に50人配置

T D Kは、東莞市の拠点で、電子部品の製造設備の開発・生産体制を再編成した。磁気ヘッドの生産自動化に携わった専用技術者を、ほかの電子部品にも拡大するため、東莞に約50人配置。(9面)

TELOP

ひと

間違いない需要はある

「中国でインバーター需要の拡大を見込んでいたが、思ったように伸びなかった」と残念なのが、は日本ケミコン社長の内山郁夫さん。ただ、「中国はエネルギー不足で、産業を育てる投資は今後も続けられる」とか。「間違いない需要はある」と自らを鼓舞する。(22日＝8面)

最先端に一気に替わる

「中国はATMの新規導入とあわせて置き換え需要も増える」と、OKI常務執行役員の鎌上信也さん。「中国は最先端のモノに一気に切り替わる文化。電話も固定より携帯電話がサッと市場を奪った」。何でも常に新しいことを提供しなければ置いていかれる。(24日＝9面)

ASIA

10月22日(月)

東ブレ、台湾に駐在員事務所
冷凍・冷蔵車用冷凍装置

東ブレは、台湾に駐在員事務所を開設した。これまでASEANでの定温物流需要の拡大に対応し、冷凍・冷蔵車用冷凍装置の海外販売を検討。台湾では冷凍輸送ニーズが拡大。(6面)

ブラザー、ミャンマーに拠点
工業用ミシン / 縫製工場アジア展開

ブラザー工業は、工業用ミシンで、ミャンマーやカンボジアに2013年以降、サービスセンターの設置を検討。現地に駐在員を置いて顧客対応を充実させる。縫製工場のアジア展開に対応。(7面)

「カカオトーク」に50%出資
ヤフー / スマホ向け

ヤフーは、韓国カカオコーポレーションの日本法人・カカオジャパンの株式50%を取得。「ヤフージャパン」の利用者に、スマートフォン向けの短文送受信サービス「カカオトーク」を提案。(9面)

水処理フィルター、東南ア投入
圧力損失を半減 / JNC

JNCは、東南アジアなど新興国の上水道向け水処理フィルターを2013年をめどに投入する。圧力損失を既存品の半分以上に抑えられるフッ素系樹脂の不織布フィルターを開発。(10面)

10月23日(火)

液晶T V、フィリピンで生産
シャープ / 年2万台

シャープは、フィリピンで液晶テレビの組み立てを11月初旬始める。ブラウン管テレビからの置き換え需要を見込む。当初は年産2万台、3年後に同20万台を

計画。地域完結型の事業体制。(1面)

伊藤忠、工業団地を拡張
インドネシア / 日系進出後押し

伊藤忠商事は、日系企業のインドネシア進出を後押しするため現地大手財閥であるシナルマスグループと共同運営しているカラワン工業団地を拡張する。約200%の開発用地を追加取得。(3面)

クボタ、タイ新工場で量産
産業用ディーゼル / 1700 2400cc

クボタは、産業用小型ディーゼルエンジンの生産・供給体制を見直す。タイの新エンジン工場で、需要が伸びている排気量1700 2400ccの立型水冷ディーゼルエンジンの量産を開始。(7面)

150m超級の鋼構建造建を拡大
新日鉄住金エンジニアリング / フィリピン

新日鉄住金エンジニアリングは、フィリピンで現地企業2社と建築・鋼構造事業の合併会社を2013年4月をめどに設立する。150m超級の高層ビルや競技場など大型鋼構造建築物に需要。(11面)

水処理で東南ア開拓
三菱レイヨン / 純水製造・排水浄化

三菱レイヨンやグループの日本錬水は、水処理事業で東南アジアを開拓する。日本錬水は純水製造装置事業でフィリピンに参入。三菱レイヨンはタイで食品工場の排水を浄化水処理膜。(15面)

10月24日(水)

航空保安でアジア開拓
三菱総研 / 管制を効率化

三菱総合研究所は、英政府が49%出資する航空管制会社のNATSと、空港の管制業務効率化を支援で業務提携する。インドネシアやミャンマーなどアジア太平洋地域の需要を開拓する。(1面)

シャープ、スマホ年1000万台
ASEANなど投入 / 鴻海と開発

シャープが、台湾・鴻海精密工業と共同開発するスマートフォンの販売目標を年1000万台に設定。中国向けを手始めに

ASEANや北米、日本などにも順次投入する。10機種程度を開発。(1面)

ヤマハ発、タイ向けスクーター
125cc / 現地企業が生産

ヤマハ発動機は、燃費性能を従来比約10%改善したタイ市場向けスクーター「Mio125i」を発売した。排気量は125cc。タイのT Y Mで生産する。電子式燃料噴射装置を搭載して燃費を向上。(6面)

蝶理、ASEAN強化
シンガポール化学品商社に出資

蝶理は、シンガポールの化学品商社であるメガケムに出資した。持分法適用会社。主に機能性ポリマーや表面処理剤、ライフサイエンス関連製品を扱う。ASEANで事業強化。(11面)

シリコーン原料、ラオス調達
伊藤忠メタルズ / 日本需要の過半

伊藤忠メタルズが、シリコーンの主要原料である金属ケイ素事業を強化。ラオスの金属ケイ素製造会社ラオ・シリコンに出資。日本需要の半分以上を確保できる見通し。中国以外から調達。(11面)

サントリー、ペプシコと提携
ベトナムの清涼飲料

サントリーHDは、米ペプシコとベトナムの清涼飲料事業で提携する。サントリーのマーケティング、商品開発と、「ペプシ」のブランド、5生産拠点や流通網などを組み合わせる。(13面)

カゴメ、タイで合併
野菜飲料・食品 / 周辺国にも提供

カゴメは、タイで飲料や食料品の製造販売事業に参入する。現地大手飲料メーカーなどと合併企業「オソスパ・カゴメ」を9月に設立。タイや周辺諸国に野菜飲料や食品を供給する。(13面)

昭和精工、タイに拠点
大田区進出団地 / 金型メンテ

昭和精工は、タイに進出する。東京・大田区の企業が共同進出するバンコク近郊のアマタナコン工業団地に拠点を設け、日系自動車メーカー向け金型のメン

テナンス体制を整備する。(21面)

台湾の工業技術研究院と協定
アジア開拓 / 東北経済連合会

東北経済連合会は、台湾の工業技術研究院と東北地方の中小企業の台湾進出を促す協定を結んだ。台湾を通して中国などアジア市場の開拓を目指す。毎年6月頃に台湾で商談会も。(24面)

10月25日(木)

天然ガス圧縮機、ベトナム受注
7800kW 2基 / 川重

川崎重工業は、ベトナムの油田開発に使用する浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備向けに天然ガス圧縮機を受注した。出力7800kWが2基。ベトナムでの受注は初めて。(6面)

コスモ計器、タイで生産
標準テスター年200台 / 特注年30台

コスモ計器は、リークテスターの納期を半分に短縮するため、タイ・バンコクに生産子会社を設立する。年間で特注の測定装置を30台、標準テスターを200台規模の生産体制を構築する。(7面)

「新幹線」輸出で4社連携
JR3社と台湾高鉄

J R東海、J R西日本、J R九州、台湾の台湾高速鉄路の4社は、日本の新幹線システムをベースとした高速鉄道事業の海外展開に向け4社が協力、P R活動などに取り組む。(17面)

国営ヌガラ銀、中小進出を支援
インドネシア

国営ヌガラ・インドネシア銀行は、インドネシアでの投資を計画する日本の中小企業に対し、銀行業務およびそれ以外のサービスを提供する。現地紙が報じた。(時事＝19面)

10月26日(金)

ミャンマーの知財整備
制度設計を支援 / 経産省

経済産業省は、ミャンマーの知的財産

権の法令整備支援を検討。民主化で、日本企業の参入が活発化。現地での事業展開で、特許や商標(ブランド)などの権利化が必要になることに対応。(2面)

ベトナムIT、日本参入
IT開発コスト、中国の半分

ベトナムのITベンチャーが日本市場の開拓に照準。リッケイソフトは、創業半年で日本企業8社と取引。ビニョーブは、受託開発案件を獲得。IT開発コストは中国の半分程度。(3面)



リッケイソフトは日本留学経験者が創業

日野自、マレーシアで生産
トラック・バス / 年産1万台

日野自動車は、マレーシアにトラックやバスを製造する子会社「日野モーターズ マニファクチャリング マレーシア」を設立した。2014年前半に生産を始める。生産能力は年約1万台。(5面)

ミドルウェア、東南アで拡張
拠点間データ転送 / 日立システムズ

日立システムズは、代理販売するデータ連携ミドルウェアを東南アジア全域で拡張する。企業内外の拠点間でデータを転送できる。データ転送や収集、配信、業務システム運用を効率化。(10面)

建築用鋼材、ベトナムに合併
年産5万ℓ / 日鉄住金建材など

日鉄住金建材は、ベトナムで住友商事、共栄製鋼、現地企業などと合併で建築用鋼材を製造販売する「日鉄住金建材ベトナム」を設立。年産能力は約5万ℓ。B V Sの構造用鋼管事業を継承。(11面)

タイでメガソーラー
三菱UFJリース / リース契約

三菱UFJリースは、海外でメガソーラーのプロジェクトファイナンス型リースに参入。第1弾はパネルメーカーなどタイと日本の企業5社が出資する特定目的会社とリース契約を成約。(17面)

台湾・久暁と航空機部品を開拓
テクノメイト / 日本で受注狙う

テクノメイトは、台湾の久暁股份有限公司と業務提携し、航空機分野への参入を目指す。久暁専任の営業担当者を配置する。日本で航空機の部品加工の受注を狙う。(21面)

「新潟の酒」ASEANに
シンガポールで出展 / 酒造組合

新潟県酒造組合は、中堅・中小19社共同でシンガポールの展示会に出展する。海外での日本食ブームを背景に、ASEANからの来場者やバイヤーに日本酒本来の味や知識を広め、開拓する。(24面)

創業・医療機器で提携
大商・シンガポール科技研究庁

大阪商工会議所は、シンガポールの科学技術研究庁と医療機器開発や創業分野の連携促進に関する協力提携を締結した。ミッションの相互派遣や共同研究プロジェクトを実施する。(25面)

TELOP

ひと

ウォンに関心を示してほしい

「モノづくりの視点で言うと韓国ウォンは非常に重要な通貨だ」と、シャープ相談役の町田勝彦さん。「金融当局にも、もっとウォンに関心を示してほしい」。「円高ウォン安の現状ではコスト競争力はつかない。日本でのモノづくりは大変厳しくなる」とばつさり。(26日＝9面)

企業 チャンネル

特集 チャンネル

読み物 チャンネル

教育イベント チャンネル

専門・技術 チャンネル

地域 チャンネル

ものづくりに関するお役立ちコンテンツを集めた

日刊工業新聞社が運営する情報サイトです。

モノづくりチャンネル

ものづくりチャンネル

http://mono-ch.nikkan.co.jp/m/

mono-ch@nikkan.co.jp